

# みつくら

令和 5年 5月15日 第386号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

## 久しぶりに対面で総会

○3月18日、7区高齢者クラブ(菅原富男会長)は7区自治公民館で4年ぶりに通常総会を開催しマスク着用で10名が出席した。ここ3年間程は書面議決総会だったので少々戸惑いがあったが、議案第1号〜5号まで全て提出議案を承認決定した。尚、議案第5号役員改選では、新会長に菅原善治郎さん、副会長に畠山スミ(再)さん、会計に菅原敬子さん(再)事務局 菅原富男さん(新)が選出された。

総会のその他では、現在当クラブの会員が18名で、ここ数年全く新加入者がなく、今後の方向性について再検討が課題とされた。を最後にコーヒー1杯飲んで閉会した。

○大瀬川第一老人クラブ(熊谷善志会長)では、令和になって初めての通常総会を4月22日に85名(委任状含む)が参加して9区自治公民館で開催した。冒頭に熊谷会長から「コロナの影響で4年ぶりの総会ですが、皆さんの元気な顔に会えて大変嬉しく思います」と挨拶があった。議長に高橋昭一さんを選出し事業報告から役員改選までの5議案が原案通り承認された。次にこの日の新企画「お花見昼食会」となった。桜が散り始めの中、役員が苦勞して集めてきた色々な花々を観ながら25名が昼食会を楽しんだ。残念ながら、会場はアルコール類が制限のため、お団子と仕出し弁当ではあったが、久しぶりに歓談の時を過ごした。

5月8日からは、新型コロナが感染症法上5類に移行され対策は個人の判断となる。物価も上がり、各団体では飲食を含んだ会合には一部負担が生じるかもしれない。

## 安協大瀬川分会が総会

令和5年度の花巻地区交通安全協会石鳥谷支会大瀬川分会(板垣吉彦会長、代議員25名、会員173名)総会は代議員への書面議決によって4月1日に開かれた。令和4年度の主な事業は春・夏・秋・冬4回の交通安全運動で幟旗を立てての啓発活動や、広報車による大瀬川内交通安全啓発を4回、飲酒運転撲滅歳末全戸訪問などであった。令和4年度の決算では、交通安全カレンダー全戸配布が約7万5千円、幟

旗60枚で約5万6千円など総額約2万3千円であった。近年、大瀬川内での大きな交通事故が見受けられないのも、この様な啓発活動の成果だと思われる。なお、総会資料は各地区の理事より会員へ配布される。

	<b>人</b>	<b>事</b> (敬称略)
第7区自主防災会	会長 畠山幸男(再) 副会長 佐藤 学(新)	菅原清孝(再)
第8区自主防災会	会長 板垣博文(新) 副会長 菅原洋二(新)	菅原昭悦(新)
第9区自主防災会	会長 畠山孝二(再) 副会長 菅原章博(新)	藤原透(新)
第7区農家組合	組合長 佐藤 学(新) 副組合長 辻村 吏(新)	
第8区農家組合	組合長 菅原昭悦(新) 副組合長 菅原純一(新)	
第9区農家組合	組合長 菅原章博(新) 副組合長 藤原 透(新)	
第9区自治公民館	館長 菅原邦典(新) 副館長 熊谷幸夫(新)	
花巻市消防団第13分団	第1部長 板垣雄一(新)	
石鳥谷地域農家組合協議会	副会長 菅原昭悦(新)	
第11地割堰水利調整組合	菅原弘雄(新)	
下大瀬川美土里の会	代表 高橋義晃(再) 副代表 菅原邦典(新)	菅原章博(新)
大瀬川活性化会議	会長 熊谷秀夫(再) 副会長 高橋厚子(新)	畠山勝敏(新)
大瀬川子供育成会	会長 辻村 智(新) 副会長 菅原善孝(新)	
大瀬川高齢者クラブ	会長 菅原善治郎(新) 副会長 畠山スミ(再)	
大瀬川中央長寿会	会長 菅原得之(再) 副会長 板垣幸夫(再)	畠山勝栄(新)
大瀬川第一老人クラブ	会長 熊谷政男(新) 副会長 畠山 靖(新)	熊谷幸夫(再)
石鳥谷西部地区老人クラブ連合会	副会長 熊谷政男(新)	
	理事 畠山スミ(新)	板垣幸夫(再) 畠山 靖(新)
	監事 菅原得之(新)	菅原善治郎(新)
大瀬川グランドゴルフ同好会	代表 菅原敬夫(令和3年から)	

## 公葬地委員会 墓地の新規利用者を報告

大瀬川公葬地管理運営委員会は4月25日、総会に当たる令和5年度第1回運営委員会を14名が出席して大瀬川振興センターで開催した。

畠山孝二副委員長の開会で、板垣弘清委員長から「何かとお忙しいところ委員会にお集まりいただきありがとうございます。今年は例年よりも10日以上も早く桜が咲いて忙しげな季節を迎えました。令和4年度には1戸の新規加入者があり、詳

しくは事務局から報告があります」と挨拶があった。

板垣委員長が議長席に着き、議事録署名人に菅原清孝さんと菅原邦典さん、書記に板垣光善さんを選出して議事に入った。事業報告では大瀬川8区出身の板垣幸宏さん(紫波町宮手在住)が新規に墓地利用者となった事や、公葬地駐車場周辺の草刈り、水道設備の保守、冬期間の除雪2回を実施した事などが報告された。大瀬川公葬地管理運営委員会では墓地の利用者200戸(令和5年度からは201戸)から管理費500円を収集し、10万円の予算で運営していて、新規の墓地利用権利金3万円も報告された。

## 交通安全啓発広告塔が倒れる

4月13日未明に菅野裕二さん宅付近の県道盛岡和賀線285号(盛岡石鳥谷線)沿いにある交通安全啓発広告塔が強風で倒れた。幸いにも怪我人もなくまた、県道を塞ぐこともなかった。この日はハウスのビニールも飛ぶような突風が吹いた日で県内に強風注意報が出ていた。通報を頂き、急遽安協大瀬川分会の小倉衛さんと熊谷記彦さんが看板の広告シートが風で飛ばないように取り外した。

この広告塔は合併前の交通安全協会石鳥谷支会が各地区6箇所を設置したもので、八日市地区では撤去しているとの事。当大瀬川分会でも、数十年前に広告シート部分を張り替えている。今後は、大瀬川分会で撤去の方向で検討している。

## 菊池宮司によって戦没者慰霊祭

大瀬川戦没者慰霊祭実行委員会主催の第127回大瀬川戦没者慰霊祭(藤原利博委員長 会員180戸)は4月3日に菊池宏宮司(熊野神社)のもと、16名が出席して慰霊碑前で厳かに行われた。熊谷幸夫事務局長の司会で、菊池宏宮司が地区出身者54人の名前を読み上げた後、藤原委員長、板垣邦博遺族会代表、畠山孝二地区民代表の順に玉串を捧げた。祭祀の終わりに藤原委員長は「皆さんにはお忙しい中、参列くださいまして有り難うございます。コロナ禍はやっと明るい兆しが見えてきましたが、世界平和への不安な状況が続いている現在、英霊を供養し恒久平和を祈願する大切なことですので、今後も絶やさないように続けます」と挨拶した。当日は午前6時から実行委員会23名が参加して慰霊碑の清掃を行っている。

## 8区2班に菊池さんが転居

8区2班に令和4年11月から菊池健志さんの転入があったので紹介する。行政班長の菅原淳夫さんは、班の皆さんに5月1日付けの文書で「これまでは、班内に転入された方を、芋の子会や花見の席で皆さんに紹介していましたが、生憎のコロナ禍の為に集まる機会がなく紹介が遅れてしまいました。菊池さんには班内の方々とのご交誼を賜りたく、また班内の皆様も菊池さんとのご交誼をお願いします」とあった。

# みつくら

令和 5年 5月15日 第386号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

**御所森通路脇の大きな石碑が倒伏**  
 4月3日の朝、大瀬川戦没者慰霊祭を行うために毎年「慰霊碑」周辺や駐車場を清掃しているが、この時に慰霊碑に向かって左側の大きな石碑が前のめりに倒伏しているのを見つけた。この石碑は、碑面が下になっているので分からないが、御所森に並んである石碑群12基の内最も大きい物で、縦幅が2m、横幅が1m50cmあり、人力では起こせない。見栄えも悪いので、いつか誰かが直さねばならないが、管理者が分からないので困っている。大瀬川公葬地外と思われるので大瀬川公葬地管理委員会にも頼めないし、戦没者慰霊碑の隣であっても、3基の慰霊碑はコンクリート基礎が造られているので境界外と思われる。周辺には宝暦年代の石碑もあることから、先人達の祈りを無にしない知恵が求められる。

**観測史上最も早かった桜の開花**  
 盛岡地方気象台は盛岡の桜は4月3日に開花と発表した。それによると、3日の朝には咲きそうになかったが、夕方に開花したという。平年より15日早く、昨年より11日早い。昭和28年の開花統計以降で最も早く、観測史上最速であった。全国各都市の開花情報は、観測対象のソメイヨシノで行っているが、盛岡の標準日は令和3年からそれまでの盛岡城址公園（旧岩手公園）から、山王町に在る盛岡地方気象台敷地内の桜に24年振りに戻している。ちなみに開花とは、気象庁が定める「生物季節観測指針」で植物6種目のうち桜は5〜6輪が咲いた日となっている。

今年大瀬川で最も早く開花したのは、柳原美智子さん宅の桜で盛岡と同じ4月3日、翌日の4月4日は地区内で一斉に開花し熊谷恭一さん宅、菅原純一さん宅、熊谷記彦さん宅南の桜、高橋英善さん宅、板垣光彦さん宅（東側）、4月5日は葉師堂川、大瀬川振興センター駐車場、大瀬川運動公園、菅原洋二さん宅、菅原銀一さんの盛岡和賀線脇、板垣武美さん宅、板垣美智子さん宅、4月6日は畠山勝敏さん宅、菅原奉文さん宅、7区公民館、山祇神社、一の留、菅原文子さん

宅（茶畑家）、御所森駐車場、最も遅かったのは4月8日で千鳥苑だった。柳原さん宅の開花した枝は、トタン屋根に近い所であったので、陽の輻射熱が関係しているかも知れない。それに対して千鳥苑の桜が遅かったのは、東側と南側は山のために日陰だからと思われる。

**えふえむ花巻が「おふくろの昔話」をシリーズで放送**  
 紙芝居でお馴染みの大地渡電家の板垣亮一さんが出版した『おふくろの昔話』が、コミュニティラジオ、えふえむ花巻FMワン（78.7MHz）の毎週水曜日午後6時10分からの番組「こうこのなんだりかんだり」でシリーズで放送されている。初回の放送は4月5日だった。「こうこのなんだりかんだり」の「こうこ」とは、石鳥谷町大興寺出身で花巻市街在住の瀬川こうこアナウンサー。瀬川さんはツイッターで「大瀬川の板垣亮一さんが書いた『おふくろの昔話』。亮一さんのお母さんヨシさんが、子どもたちへいつも話してくれた昔話41話を思い出しながら綴った本を朗読します。地元の方で書かれたものなので、若い人などにはわからないところもあるかと思いますが、そのままお伝えします。お楽しみに」と述べている。4月26日の放送では「おんぶしたい殿」の昔話が放送された。

**中央長寿会 ポッチャ大会リーグ戦で6位入賞**  
 花巻市老連石鳥谷支部主催のポッチャリーグ交流大会は19チームによってリーグ戦が行われ、大瀬川中央長寿会が6位に入賞した。石鳥谷町内には現在19団体の老人クラブがあり、総参加の賑わいであった。リーグ戦とあって令和4年11月21日と12月19日、令和5年1月23日と2月20日の4日間にわたって試合が繰り広げられた結果、大瀬川中央長寿会は11勝7敗で入賞となった。1位は新堀幸楽会、2位は八幡2シニアクラブ、3位は同率の好地第2福寿会と江曾長寿会であった。出場選手は各試合3名であったが、試合毎の入れ替わりが認められ、中央長寿会の選手は板垣幸寿さん、板垣福子さん、菅原佳子さん、熊谷レイ子さんの4人で戦った。参加した熊谷レイ子さんは「最終戦に好地第3福寿会との組み合わせで、惜しくも1点差の逆転負けでした。もし勝っていたら3位でしたヨ。大瀬川でもポッチャを練習していたので、とっても楽しかったです」と話しておられた。

**関係団体が山火事防止の啓発活動**  
 「大瀬川・片寄地区山火事予防協議会」主催の山火事防止啓発活動が4月24日から5月7日までの2週間、市道大瀬川線と市道久保線の交差点（高井沢）と紫波町片寄字後在所大沢堤の2ヶ所で行われた。加入している関係団体は大瀬川地区、片寄地区ともに6団体。活動に参加した大瀬川の団体は、大瀬川分収造林組合、畑分収造林組合、大瀬川活性化会議、花巻市石鳥谷総合支所、花巻

北消防署、花巻市消防団第13分団である。各団体2人ずつが交代で入山者にチラシなどを渡し、山火事防止を呼びかけた。この活動は平成9年5月2日の大瀬川山林大火を教訓に平成19年4月から始めていて今回は17回目となる。

**両神社で春祭りと火防祭**  
 4月29日に天満宮と山祇神社で春祭りと火防祭を行った。当日は午後2時から天満宮で、午後3時から山祇神社で市消防団第13分団第1部と第2部の団員、山祇神社の役員や総代など21名が祈願した。備事後直町清均宮司は「今年は風が強い日が続いていて、特に火の元には充分気をつけていただきたい」と訓示した。

**表 彰**（敬称略）

第51回岩手県書道作品コンクール（令和4年6月）  
 硬筆の部 推薦 熊谷水希さん（午房家）  
 特選 熊谷心々さん（田屋家）、畠山ひよ里さん（六孟家）  
 第50回石鳥谷町卓球大会（令和5年2月）  
 第3位 大瀬川体育協会

**4ぶりの安全祈願祭**  
 交通安全協会大瀬川分会（板垣吉彦会長）では、コロナ過で休止していた交通安全祈願祭を4月29日、4年ぶりに山祇神社で行った。直町清均宮司による地域住民の交通安全祈禱を行い、板垣会長が玉串を捧げた。

**訃 報**

4月1日に野中竈家の板垣岑生さんが82歳で亡くなりました。板垣さんで思い出すのは、中学校卒業と同時に農業に就いた若者達で組織した「青雲4Hクラブ」を創設した一員でした。初代会長は熊谷善一さんでしたが、2代目の会長から解散時まで板垣さんが担いました。往事の青雲4Hクラブは、農業研究発表会で稗貫郡大会に最優秀賞、県公会堂での県大会発表会では3位となり表彰状を受け取ったのも板垣さんでした。その他にも青年団から大瀬川青年会と名称変更後の昭和39年に6代目の会長を担われ、盆踊り大会をさらに賑やかにされた方でした。仕事では渡辺機械（花巻市高木）に勤務中、板垣寛さんの紹介で町が誘致した鋼商（株）東北支店に定年まで勤務しました。鋼商東北支店の開業前には、2ヶ月ほど本社（北海道勇払郡安平町）に研修生として派遣されたのも思い出します。板垣さんは定年後、鋼商の下請けで鉄鋼加工を自宅で行っていた時に不慮の事故に遭い、不運というしかありません。たろし滝の保全には測定を始めた時から関わり、多くの功績を築かれた板垣さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。